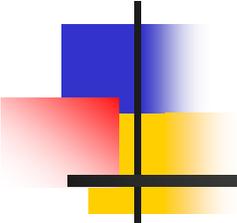


第14回監視・影響調査専門委員会  
有識者ヒアリング



# 農村女性をめぐる現状と課題 －能力開発を中心に－

---

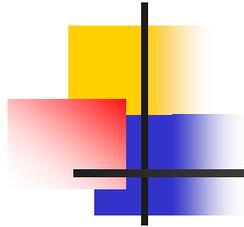
日本大学生物資源科学部  
川手督也



# 報告の内容

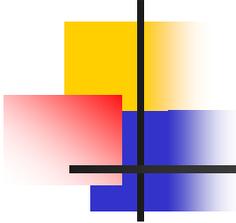
---

- 1. 農村女性の現状と課題－女性農業者を中心に－**
- 2. 必要とされる能力開発と課題**
- 3. 関連施策の評価と課題**



# **1. 農村女性の現状**

## **－女性農業者を中心に－**



# 農業における女性の役割(1)

---

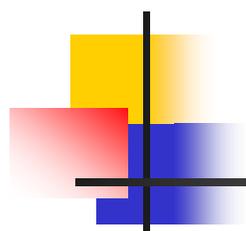
- **農業経営の大半は家族経営、農村社会は地域住民(農家など)の私的自治により運営される領域が大きい**
- **女性は、農業就業人口の6割近くを占めるなど、農業・農村において重要な役割**
- **特に子育てが一段落した30歳代後半から顕著**



# 女性の農業従事パターン

---

- 大半の場合、結婚を契機として就農、子育てが一段落した時点から農業に本格的に従事
- もともと農家世帯は一般世帯より女性の就業率は高いが、近年むしろM字の傾向



年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
農家人口	10,169	9,898	9,647	9,400	8,325
うち女性	5,194	5,056	4,926	4,801	4,232
女性の割合	51.10%	51.10%	51.10%	51.10%	50.80%
農業就業人口	3,820	3,751	3,684	3,622	3,338
うち女性	2,126	2,083	2,039	2,000	1,780
女性の割合	55.7	55.50%	55.30%	55.20%	53.30%
基幹的農業従事者数	2,364	2,308	2,256	2,197	2,365
うち女性	1,112	1,074	1,042	1,013	1,094
女性の割合	47.00%	46.50%	46.20%	46.10%	46.20%
総人口	127,291	127,435	127,619	127,687	127,757
うち女性	65,047	65,183	65,315	65,392	65,416
女性の割合	51.10%	51.10%	51.20%	51.20%	51.20%

## ○年齢別農業就業人口

単位：人、％)

	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70以上	合計
男性	70720	57750	54830	115820	185730	449540	710840	1645250
	63.7	57.4	33.8	37.1	36.8	42.5	49.5	44.7
女性	40240	42890	107420	196410	318930	608420	724560	2038870
	36.3	42.6	66.2	62.9	62.9	63.2	50.5	55.3
合計	110960	100640	162250	312230	504660	1057960	1435400	3684120
	3.0	2.7	4.4	8.5	13.7	28.7	39.0	100.0

資料：農林水産省「農業構造動態調査」(平成15年)

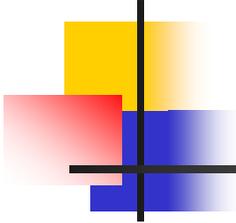
## ○年齢別基幹的農業従事者数

単位：人、％)

	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70以上	合計
男性	1040	27040	48940	108850	175450	385430	467410	1214140
	83.9	80.6	58.6	48.9	45.2	50.9	60.8	53.8
女性	200	6500	34560	113790	212970	372390	301480	1041900
	16.1	19.4	41.4	51.1	54.8	49.1	39.2	46.2
合計	1240	33540	83500	222640	388410	757820	768890	2256040
	0.1	1.5	3.7	9.9	17.2	33.6	34.1	100.0

資料：農林水産省「農業構造動態調査」(平成15年)

(注)基幹的農業従事者とは、農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、調査期日前1年間のふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」のことをいう。



## 農業における女性の役割(2)

- **農業経営や地域農業の多角化・高度化による高付加価値化の担い手として活躍**
  - **責任をもって様々な部門を担当**
  - **家族経営協定などの推進により一定の経営参画の実現**
- ↓
- **農業・農村の新たな可能性の開拓**



# 参考：農業・農村の新たな可能性について

- 農林水産業は、仕事としての自律性が高く(自己裁量の範囲が大きい)、職住近接となっていること等家庭生活における活動と他の活動の両立が可能な、男女共同参画を実現しやすい魅力ある職業と考えられる(「農山漁村の男女共同参画社会の形成に関する総合的な推進について」(平成11年11月1日付け11農産第6825号、各局長・長官連名通知) )。
- 「農山漁村型ライフスタイル」と「めざそうとする女性の姿」(農山漁村の女性に関する中長期ビジョン報告書(平成4年))  
↓  
農山漁村の良さを生かした暮らし方と実現の担い手の女性のあり方
- 家族経営協定締結による家事・育児・介護などの経済的評価 など

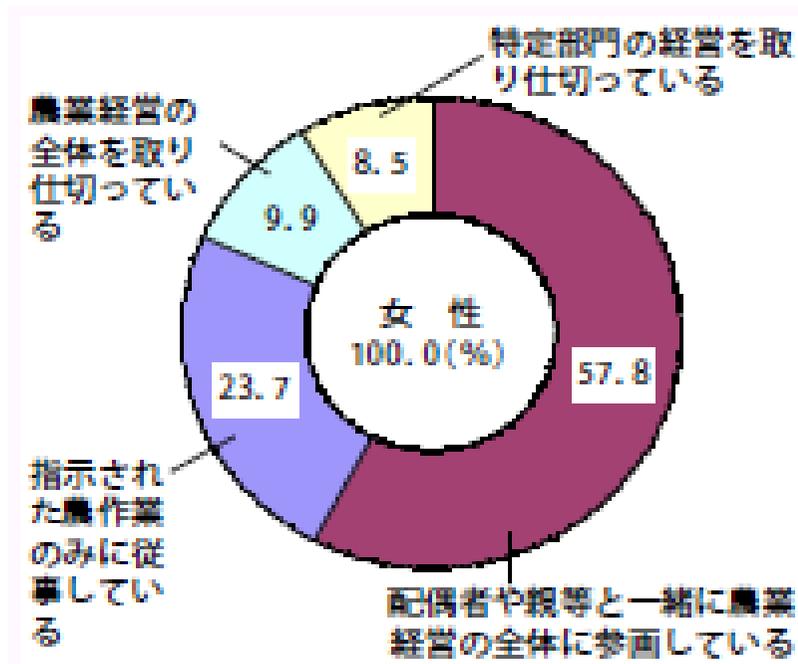


# 女性の経営参画(1)

## ○家族経営協定の推進などにより地域リーダー層を中心に一定の参画

**家族経営協定：家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるもの。農林水産省の調査によると、平成18年3月末現在で、34,521戸の農家が家族経営協定を締結。**

# 経営参画の現状



資料:農林水産省統計情報部「農村における男女共同参画の意向に関する調査」(平成13年2月)

# 部門分担の現状

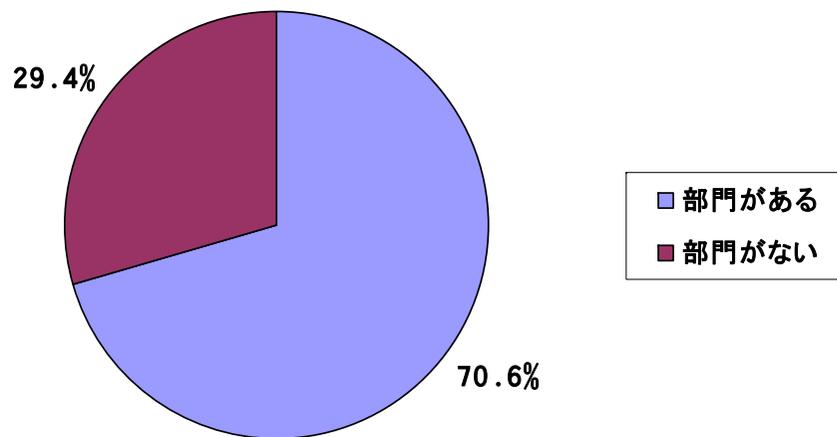


図1 女性就業者が責任をもって担当している部門の有無

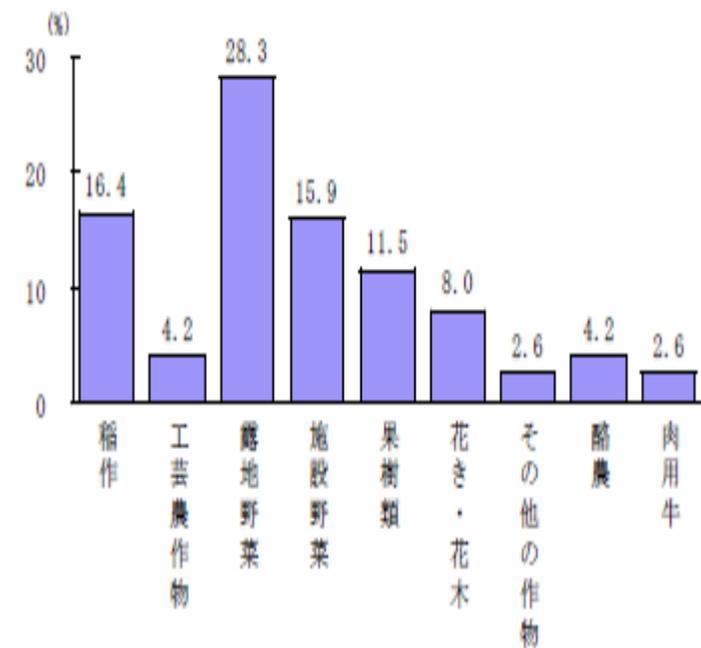
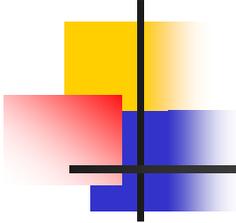


図2 女性就業者が責任をもって担当している部門の状況

農林水産省：「女性の就業構造・経営参画状況調査」  
(平成15年7月)

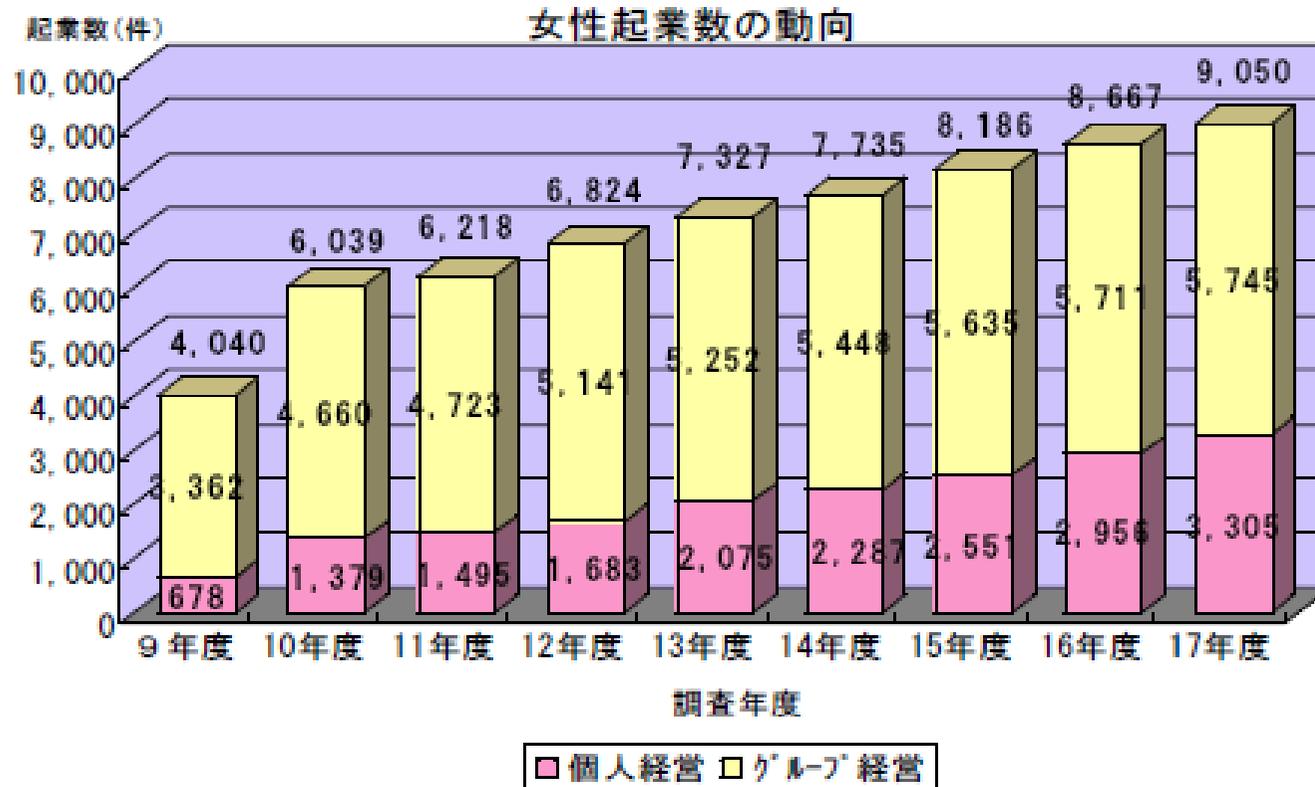
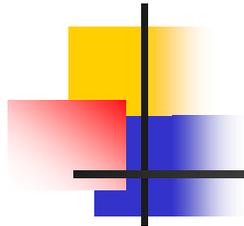


# 地域農業・社会における農村女性の活躍：農村女性起業の推進

- 近年、地域の農産物等を活用した加工品づくりや直売店、農家レストラン、農業体験などの事業を行う女性の起業活動が注目されている

※農村女性起業：経営方針の決定や事業実施において女性が主体となった経済活動であり、地域の農産物等を使い、女性の収入獲得につながっているもの。

- 農村女性起業の数は全国で9,050件
- 活動内容は地域農産物を利用した食品加工が最多
- 販売金額は、300万円未満が59%、1,000万円以上については、前年度より60件の増加



資料:農林水産省普及・女性課調べ

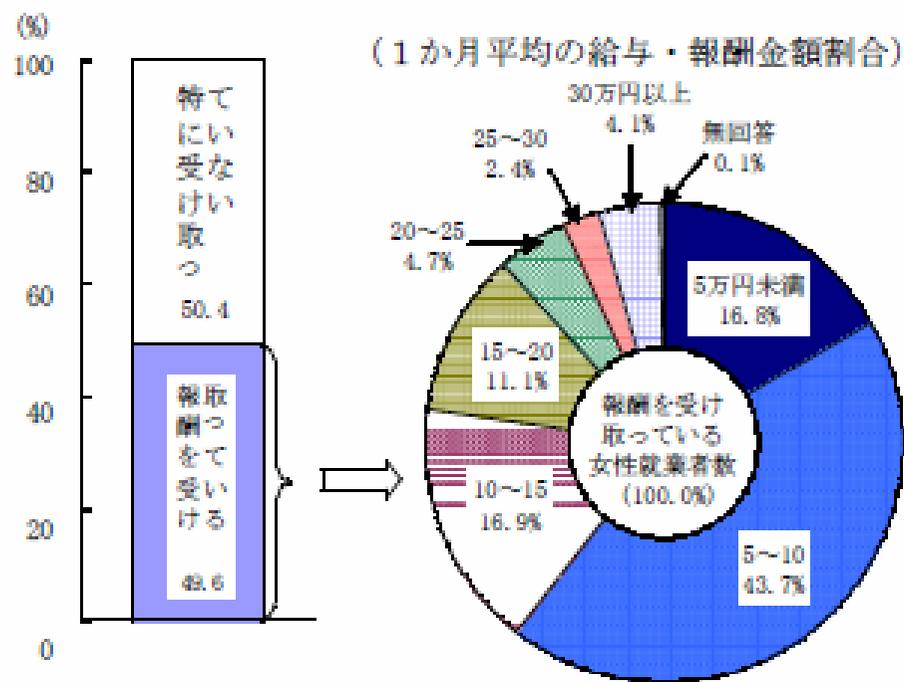


# 農村女性の経営・生活における 位置づけ

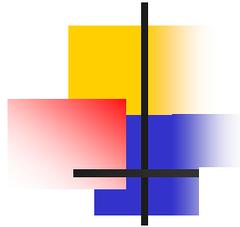
---

- **まだまだ不十分な労働報酬・収益の分配**
- **非常に少ない経営資産(農地など)の保有→経営者としての位置づけや社会参画(農協役員など)にマイナス**
- **農業に加え、家事・育児・介護などの大きな負担**
- **不十分な能力向上の機会**
- **不十分な農業経営者としての社会的な位置づけ**

# 労働報酬取得の現状

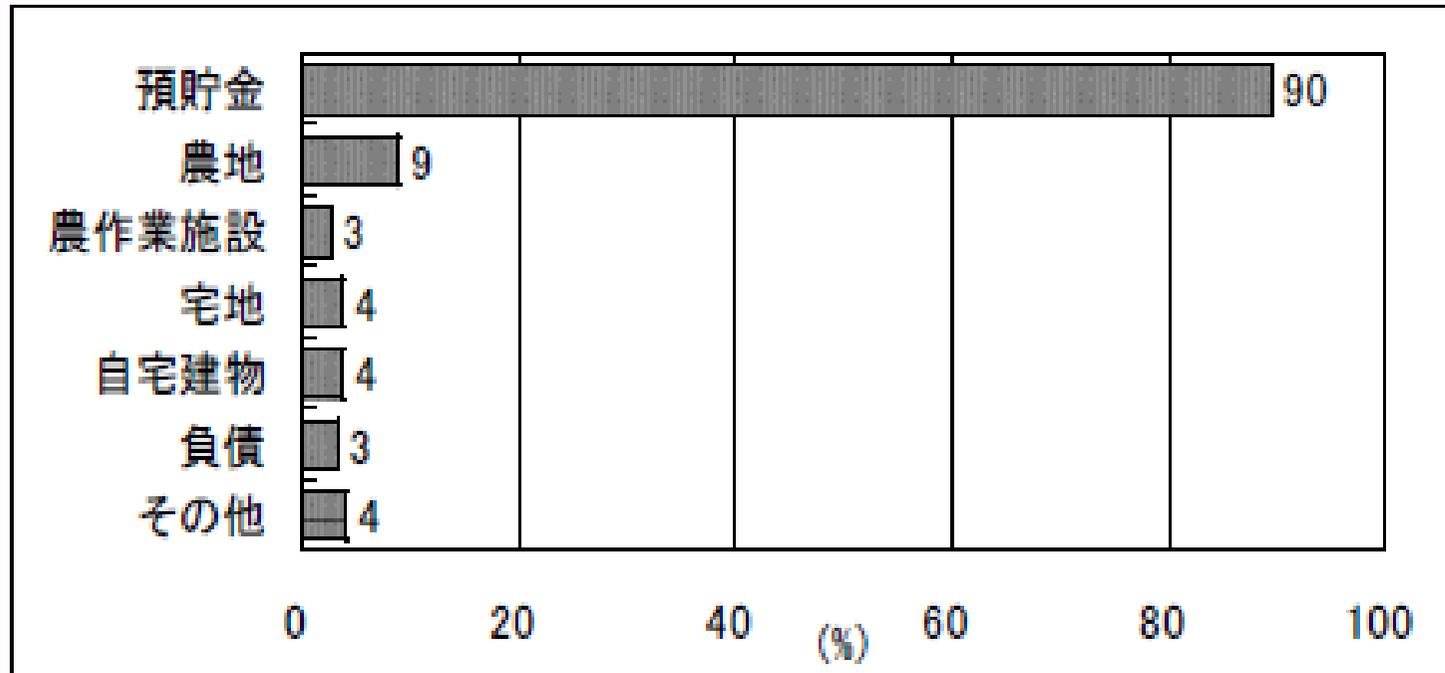


農林水産省：「女性の就業構造・経営参画状況調査」  
(平成15年7月)



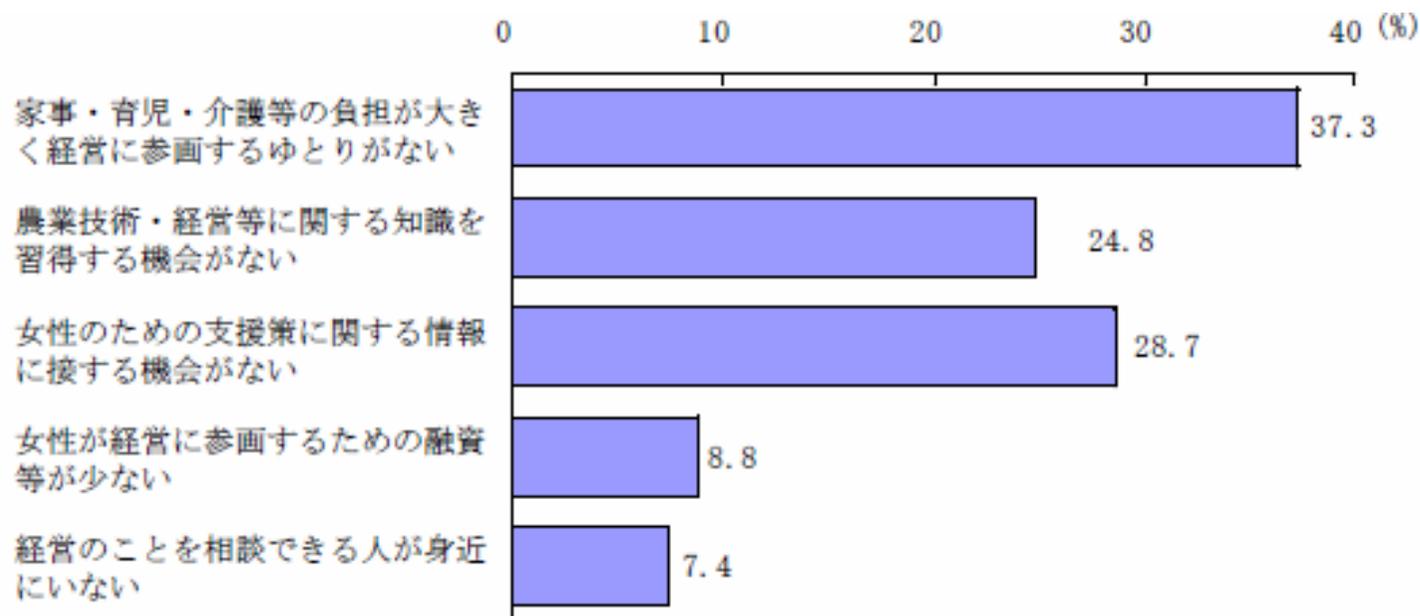
# 女性名義の資産保有の現状

(女性名義の状況(複数回答))



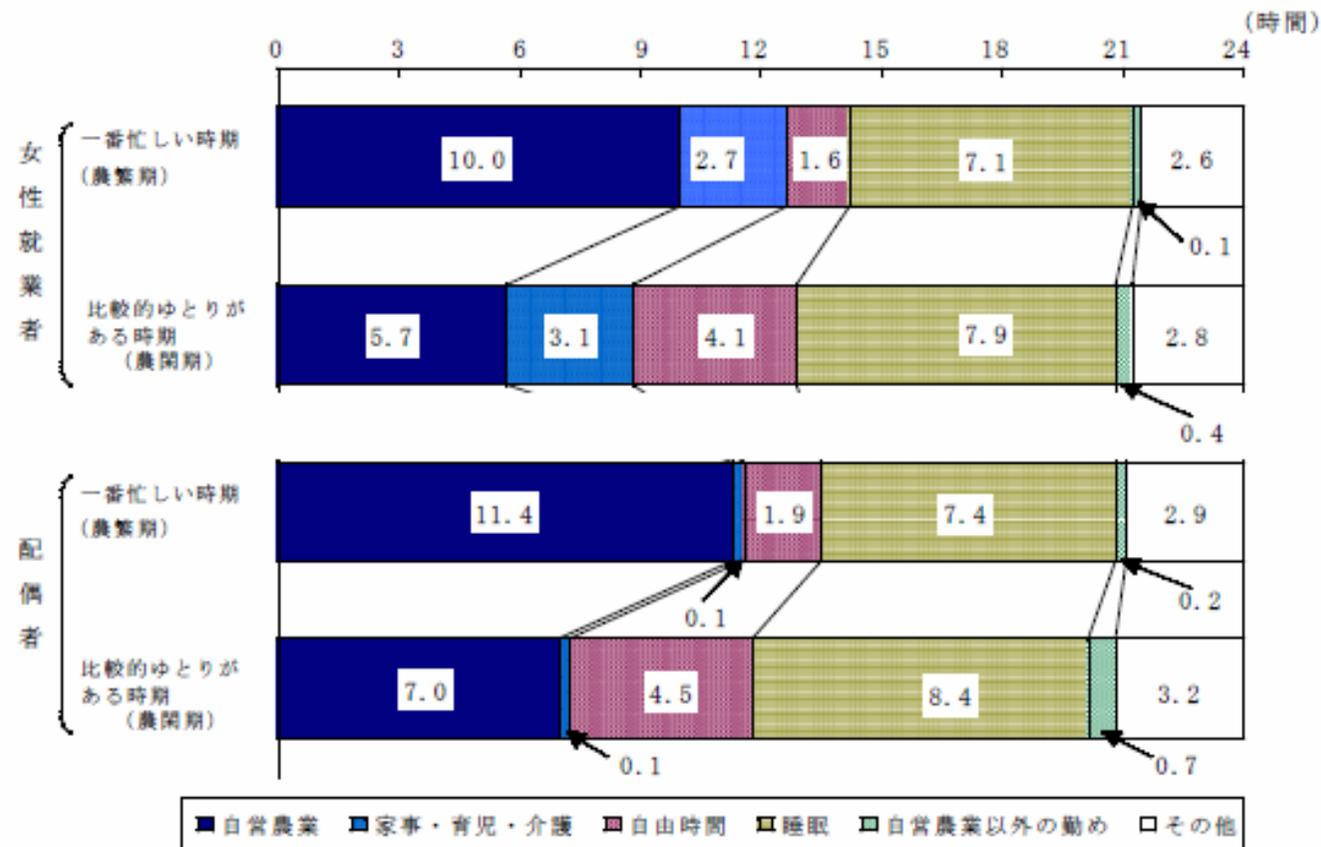
資料:農林水産省農産園芸局婦人・生活課「女性農業者の地位向上に関する実態調査(経営参画と資産の保有に関する実態調査)」(平成12年4月)

# 女性が経営参画する上での課題

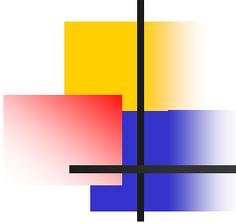


農林水産省：「女性の就業構造・経営参画状況調査」  
(平成15年7月)

# 女性農業者および配偶者の1日の時間配分



農林水産省：「女性の就業構造・経営参画状況調査」  
(平成15年7月)



# 女性の農業経営者としての社会的 位置づけと認定農業者

○認定農業者に認定されている女性の件数は**3,685件(平成17年)**にとどまり、全体のわずか**2.14%**

→背景に「**世帯主義**」的慣行など

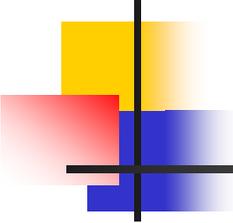
※認定農業者：農業経営に関する公的支援を集中的かつ重点的に実施する対象で、農業経営改善計画を市町村が基本構想に照らして認定

# 女性の認定農業者の動向

		(単位:人、%)								
年		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
総	数	98,232	119,448	136,287	145,057	149,931	162,791	171,746	182,345	191,633
	うち女性の み	1,275	1,780	2,168	2,539	2,746	3,149	3,402	3,604	3,685
	うち共同申 請	-	-	-	-	-	-	-	81	440
	女性合計	1,275	1,780	2,168	2,539	2,746	3,149	3,402	3,685	4,125
	女性の比率	1.30%	1.49%	1.59%	1.75%	1.83%	1.93%	1.98%	2.02%	2.15%

※ 共同申請は夫婦での共同申請

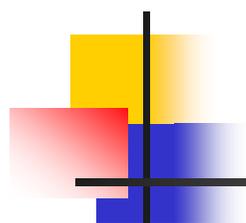
資料:農林水産省経営政策課調べ  
数値はいずれも各年3月末現在



# 女性の社会参画の状況

---

- 依然としてきわめて少ない社会参画の水準
- 地域農業やむらづくり、集落運営などにおける計画や意思決定の場への参画もきわめて少ない



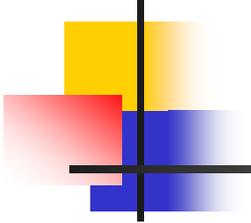
年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
農業委員数	59,254	58,801	58,613	57,875	56,348
うち女性	1,081	1,318	2,261	2,369	2,391
女性の割合	1.82%	2.24%	3.86%	4.09%	4.24%
農協個人正組合員数	5,240,785	5,202,171	5,149,940	5,098,862	5,045,472
うち女性	746,719	769,748	783,806	787,965	786,357
女性の割合	14.25%	14.80%	15.22%	15.45%	15.59%
農協役員数	32,003	29,154	26,076	24,786	23,742
うち女性	187	213	266	300	364
女性の割合	0.58%	0.73%	1.02%	1.21%	1.53%
漁協個人正組合員数	275,715	267,381	260,286	252,330	
うち女性	15,655	15,289	15,145	15,426	
女性の割合	5.68%	5.72%	5.82%	6.11%	
漁協役員数	17,974	17,381	16,401	15,705	
うち女性	43	47	49	48	
女性の割合	0.24%	0.27%	0.30%	0.31%	

資料: 経営局構造改善課, 協同組織課, 水産庁水産経営課調べ

注: 農業委員: 各年8月1日現在, ただし, 平成2年以降は10月1日現在

農 協: 「総合農協統計表」各事業年度末(農協により4月末~3月末)現在

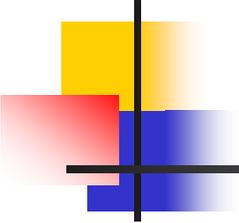
漁 協: 「水産業協同組合統計表」各事業年度末(漁協により4月末~3月末)現在



# 農村女性の現状と課題

## －総括(1)－

- 女性農業者の現状は決してミゼラブルなものではなく、経営・生活の参画は一定進み、様々な活躍を見せはじめている
- 特に地域リーダー層における取り組みは、自家の農業・生活に発し、地域社会、さらには都市サイドまで広がっている。内容的には、狭い意味での農村女性の地位の向上のみならず、産直、直売、伝統文化の継承や新しい生活文化の創造、地域づくり、地域資源管理、環境問題への対応、高齢者福祉、都市住民や消費者との交流など、生活者の視点を生かした多様で幅の広いものとなっている。
- エンパワーメントの面でも、市町村農業委員さらには市町村会議員に自分たちの代表を送り込む運動が各地ではじまっている。彼女たちの取り組みは、世の中を徐々にではあるが着実に変えていく力となりつつあるといえる。



# 農村女性の現状と課題

## －総括(2)－

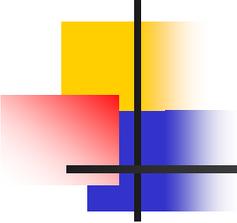
---

しかし

- 経営・生活における位置づけは不十分
- 地域農業・社会の参画はきわめて不十分

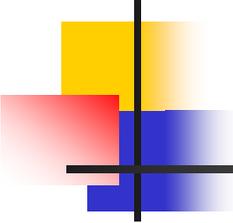


- 十分な能力が発揮されているとはいえない



---

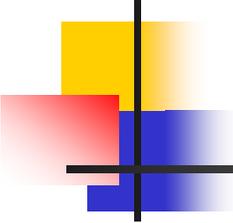
## **2. 必要とされる能力開発と現状、対応する課題**



# 必要とされる能力開発

---

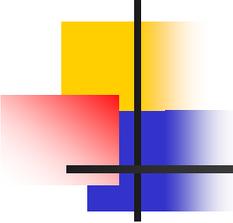
- **農業・農村をめぐり厳しさを増す外部環境**
  - **私的自治により運営する領域が大きい農業・農村**
- ↓
- **生活者の視点を生かした女性の農業経営  
および地域農業・社会運営への参画＋農業経営者および地域農業・社会の担い手  
としての能力開発・確立が急務**



## **(1) 農業経営者としての課題**

---

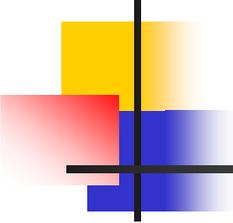
- **経営参画が進んだことに伴い、また、関連する支援(研修・ネットワーク形成など)を受け、農業経営者として一定の能力向上**
- **特に地域リーダー層で顕著**



## しかし……

---

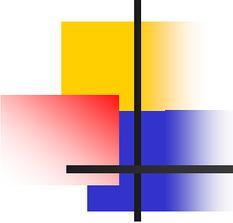
- **農業に加えて家事・育児・介護などの大きな負担**
  - **農業経営者としての社会的位置づけが不十分**
- ↓
- **技術や経営に関する研修の機会は依然として不十分**
  - **必要な情報のアクセスも不十分**



## 対応する課題

---

- **女性が受けやすい研修の企画・実施**  
**(特に子育て期における配慮の必要性)**
- **女性の過重負担の軽減**
- **認定農業者への認定など女性の農業経営者としての社会的位置づけの明確化**
- **さらなる経営参画の促進**  
**など**

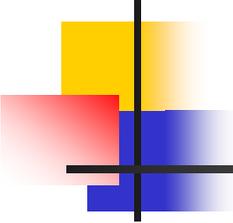


## **(2) 地域農業・社会の担い手としての課題**

- **地域農業・社会における方針決定の場への参画がきわめて不十分**
- **地域農業・社会の担い手としての情報のアクセスがきわめて不十分**



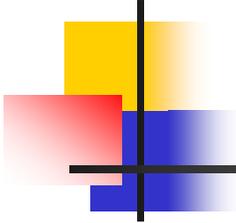
- **地域農業・社会の担い手としての能力向上や研修の機会がきわめて不十分**  
※ **地域リーダー層においても同様**



## 対応する課題

---

- **社会参画のさらなる促進**
- **地域リーダー層に対する重点的な能力開発・研修機会の提供**
- **過重負担の軽減**
- **個人が尊重される社会システム構築に向けた啓発活動のさらなる促進**

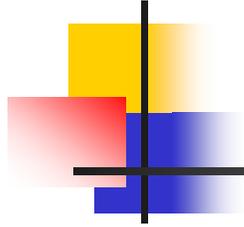


# 地域農業・社会の担い手としての課題

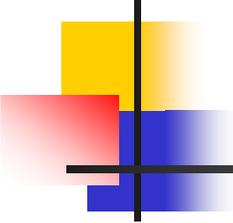
- 地域農業・社会における方針決定の場への参画がきわめて不十分
- 地域農業・社会の担い手としての情報のアクセスがきわめて不十分



- 地域農業・社会の担い手としての能力向上や研修の機会がきわめて不十分
- ※地域リーダー層においても同様



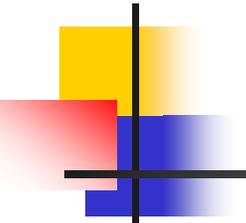
### **3. 関連する施策の評価と課題**



## 関連施策の評価と課題

---

- **基本的なあり方は間違っていないと判断される**
- しかし、
- **農村女性の重要性についての認識が依然として不十分**
- **人材育成には時間がかかるが、その点の認識がきわめて不十分**

- 
- **これまで人材育成の中心的役割を果たしてきた農業改良普及組織が弱体化**
  - **これに代わる支援体制が未形成**
  - **農業が家族経営で担われていることから、コスト負担などの問題を含め、一定の公的支援は必要**
  - **そもそも人材育成は時間がかかるが、それに対応した評価手法が未確立**



- **早急な対応を図る必要**